

創立35周年記念誌

高齢社会を生きる 笑顔で社会参加



建造物(時田家住宅・時田蔵)



建造物(旧忍町信用組合店舗)



旧跡(忍城跡)



重要有形民俗文化財(行田の足袋製造用具及び関係資料) 行田市郷土博物館 所蔵



行田足袋



国特別史跡(埼玉古墳群)

＼日本遺産の街でいきいき はつらつ 健康で／ (写真は日本遺産の構成資産一例)

公益社団法人 行田市シルバー人材センター

背景は行田市シルバー人材センター むつみ

シルバー人材センターの理念

自主

共助

自立

共働



むつみ

平成19年(2007年)3月 新建屋落成記念に愛称を決定

【目次】

ご挨拶	理事長	篠原 正直	1
祝辞	行田市 市長	石井 直彦	2
	行田市議会 議長	吉田 豊彦	2
	公益財団法人いきいき埼玉 理事長	永沢 映	3
35年の歩み			4~5
思い出のアルバム			6~9
トピックス	功労者表彰		10
	ボランティア活動		11
事業実績・グラフ			12~13
シルバー人材センターの紹介			
	組織図、入会・就業プロセス等		14~15
	専門委員会		16~17
	独自事業		18
	就業現場		19~24
	お客様の声		25
	会員からの一言		26~27
親睦会の紹介			
	会長の挨拶、親睦会の概要		28
	活動の紹介		29~31
	(年間行事・ボランティア、会員サロン、サークル活動)		
歴代役員名簿			32~33
現役員・職員の紹介			34
編集後記			35

創立 35 周年を迎えて

行田市と市民の皆様の ご支援に感謝



公益社団法人 行田市シルバー人材センター
理事長 篠原 正直

行田市シルバー人材センターは、昭和 58 年に発足した「行田市高齢者事業団」を引き継ぎ、昭和 62 年に「行田市シルバー人材センター」としてスタートしました。以後、関係各位に支えられながら平成、令和と時を重ね、ここに創立 35 周年を迎えることができました。これもひとえに、行田市をはじめ市民の皆様のご支援と、先輩諸氏や会員の皆様方のご尽力の賜物と、心より感謝を申し上げます。

創立当初の会員数は 177 人、請負・委託契約金額は 2,168 万円です。その後会員数、契約金額ともに右肩上がり推移し、平成 30 年には会員数 350 人、契約金額 1 億 6,263 万円と順調に事業実績を積み上げてまいりました。その流れの中で、令和 3 年の高齢者雇用安定法の改正で、70 歳までの安定した雇用の確保が求められています。これに伴って新入会者の年齢が 70 歳を超えてきており、会員の平均年齢も 73 歳になろうとしています。

急速に進む高齢化、目まぐるしく変化する社会・経済環境、新型コロナウイルスは私たちの日常をも変えてしまいました。この厳しい社会情勢の中でセンターも転換期を迎え、様々な課題が浮き彫りになってきています。中でも超高齢社会を目前にした今、高齢者の就業機会の確保、就業のあり方は極めて重要な課題となっております。こうした課題に私たちが一丸となって取り組んでいかなければなりません。

シルバー人材センターの目指すところは、高齢者が「就業を通して活力ある高齢社会、地域社会づくりに貢献するとともに、生き甲斐のある生活の実現」にあります。

改めてこの理念を念頭に置いて会員の皆様とともに先人から受け継いだバトンをしっかり守り、次へ繋いでまいります。

創立 35 周年を祝して



行田市 市長 石井 直彦

行田市シルバー人材センターが、設立 35 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

シルバー人材センターにおかれましては、昭和 62 年の設立以来、「自主・自立・協働・共助」の基本理念のもと、高齢者が地域で働くことを通じて活力ある地域社会づくりや福祉の向上に大きく貢献されてこられました。これもひとえに役職員の皆様並びに会員の皆様のご尽力の賜物と心から敬意を表する次第であります。

さて、わが国では急速な少子高齢化が進んでおり、今後も活力ある地域社会を維持していくためには、元気な高齢者がこれまで培ってこられた知識や経験を生かし、生きがいを持って活躍されることが不可欠であります。このような中、活力ある高齢化社会を支える地域の中核的な組織として、シルバー人材センターの担う役割は、一層重要となってまいります。

また、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化し、新型コロナウイルス感染症流行の渦中にありますが、このような中でも、会員の皆様の丁寧な仕事ぶりにより、地域に愛される存在であり続けるとともに、今後ますます充実、発展することを大いに期待しております。

結びに、行田市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



行田市 市議会議長 吉田 豊彦

行田市シルバー人材センター設立 35 周年、誠におめでとうございます。

心よりお祝いを申し上げます。

豊富な経験や知識を生かし、地域社会の支え手として 35 年の長きにわたり活躍されてきた会員の皆様に深い敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、一昨年からの新型コロナウイルスの終りの見えない感染拡大が社会生活に甚大な影響を与えておりますが、加えて人生 100 年時代を迎えている今日、高齢者の方々の活動拠点であるシルバー人材センターの役割は大変重要であり大きな意義がございます。

社会環境が大きく変わりつつある現在、今後ともこの環境の変化に適切に対応し、今日まで積み上げてこられたものを大切にされ、地域から信頼される存在としてシルバー人材センターがさらに大きく発展されることを願ってやみません。

結びに会員の皆様をはじめ関係各位のご健勝と益々のご活躍を心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益財団法人いきいき埼玉 理事長 永沢 映

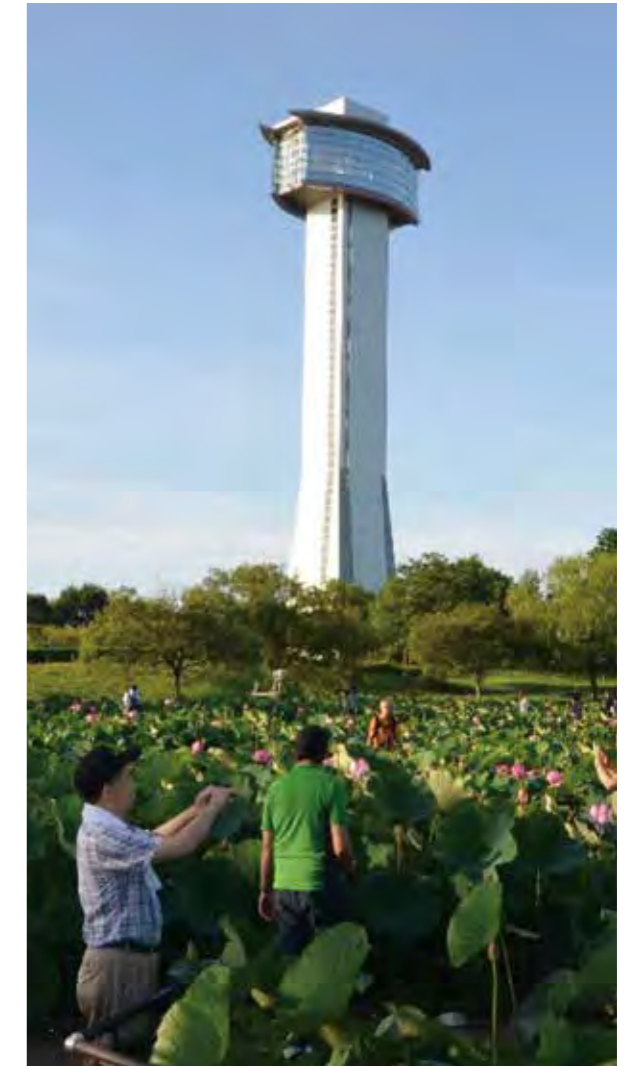
公益社団法人行田市シルバー人材センター創立 35 周年を心よりお祝い申し上げます。

これまで「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、高齢者の就業を支え福祉の増進に努めてこられました歴代の理事長をはじめ役員、会員の皆様に心から敬意を表します。

さて、現在のコロナ禍にあって、貴センターにおいても会員の感染対策等、大変な御苦労をされていることと存じます。一方、シルバー人材センターは、シニアが働くことを通じて社会参加し、健康で生きがいのある生活の実現及び地域社会の福祉の向上と活性化という極めて重要な役割を果たしており、今後はますます期待が高まるものと思われまます。

埼玉県シルバー人材センター連合である当財団といたしましても、このような社会情勢の変化にも柔軟に対応し、シルバー人材センター事業の推進に力を注いで参ります。

結びに、貴センターの御繁栄と会員の皆様のますますの御健勝と御活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



(古代蓮の里)



(世界最大の田んぼアート)

撮影：福原 勲会員

35年の歩み

■行田市高齢者事業団

昭和55年4月	行田市在住の65歳以上の高齢者に対し、事業団への参加希望のアンケートを実施
昭和56年4月 (1981年)	行田市高齢者事業団設立準備要綱を交付 第1回行田市高齢者事業団設立準備委員会を開催
7月	行田市高齢者事業団設立総会を開催

■社団法人 行田市シルバー人材センター

昭和62年9月 (1987年)	社団法人行田市シルバー人材センター設立準備委員会を開催 行田市高齢者事業団臨時総会、社団法人行田市シルバー人材センター設立総会を開催 初代理事長に大須賀雄三氏(学識経験者)が就任
昭和63年2月	情報誌「シルバー行田」創刊号を発刊
6月	第1回定期総会開催。基本方針、事業計画を承認
8月	会員親睦会を結成。会則・役員を決定
12月	行田市天満7の13に作業所を設置
昭和64年1月	「昭和」が終り「平成」の幕開け
平成元年1月 (1988年)	第1回会員新年懇親会の開催 会員による地域班を結成
平成2年 4月	理事長に中川直木氏(行田市長)が就任
平成3年 4月	理事長に山口治郎氏(行田市長)が就任
平成4年 6月	昭和56年事業団設立以来11年経過し、設立10周年記念式典を挙行
平成5年	「安全就業推進委員会」を設置、安全就業基準を制定
平成7年	古代蓮の里が開園。公園管理の一部を請負う
平成8年	埼玉県シルバー人材センター連合に加入
平成10年6月	「古代蓮の里」でのボランティア清掃が、読売新聞埼玉版に掲載される 国の緊急雇用対策事業の委託を受け、専門員を配して就業開拓を推進
平成11年6月	「古代蓮の里」でのボランティア清掃が、毎日新聞埼玉版に掲載される 国の就業機会開拓プロジェクト事業の委託を受け、新規開拓活動を推進
平成12年	国のシニアワークプログラム事業の委託を受け、会員の技術習得に取り組む 企業を中心に就業拡大キャンペーンの実施
平成13年	就業機会の拡大に対応するため、技術力の向上を目的とした各種技能講習会を開催
平成14年1月	理事長に小堀澄氏(農業関係)が就任 会員主導で諸会議の制定。ブロック別地域班会議などの定例化 会員の組織づくりに着手。地域班制度、植木班の立ち上げ、会員のグループ編成など
平成15年	長期就業、ワークシェアリング対策の検討開始 埼玉県の委託事業を活用した就業確保専門員を配置し、市内の事業所を訪問PR 安全就業委員会(後の安全・適正就業推進委員会)が発足
平成16年	会員主導で運営するシルバー人材センターを目指す三カ年計画の最終年 事業の普及に就業機会開拓員を配置し、一般家庭や企業などへPR活動
平成17年	理事長に横田昭夫氏(行田市長)が就任 南河原村との合併により入会者多数で会員急増
平成18年4月	行田市によるシルバーワークプラザの完成。落成記念式典を挙行
平成19年4月	シルバーワークプラザの完成で事務所の移転。新センターの愛称を「むつみ」に決定
6月	理事長に鈴木秀憲氏(行田商工会議所会頭)が就任

8月	長期就業是正の取組みを開始。第1回長期就業是正検討委員会を開催
11月	「商工祭・忍城時代まつり」に参加し、シルバー人材センターをPR。以後継続
平成20年	定期総会を年2回(3月、6月)に。後に6月のみとなる。 リーマンショックによる経済不況で、事業実績は前年度を下回る
10月	臨時総会開催。役員を選任
平成21年	行田市の発注方式見直しで、受注が大幅に減少
平成22年2月	刃物研ぎサービスを開始 独自事業「観光ガイド」の研修を実施。「シルバー農園」の準備を開始
平成23年6月	野菜の直売事業開始。「商工祭・忍城時代まつり」会場で野菜の販売を実施(11月)
10月	観光ガイド事業開始 自治会の資源ゴミ回収の立会を自治会員に代わって就業開始

■公益社団法人 行田市シルバー人材センター

平成24年4月	埼玉県知事の認定を受けて「公益社団法人」となる 理事長に工藤 正司氏(行田市長)が就任 忍城の攻防を映画化した「のぼうの城」の公開で観光ガイドの依頼が急増
平成25年	2020年の夏季オリンピック・パラリンピックが東京に決定 新規の就業機会確保のため、開拓員を増員
平成26年	行政庁の立入検査。埼玉労働局の適正就業の検査・指導を受ける
平成27年2月	「空き屋適正管理」に関する協定を行田市と締結
4月	情報誌「広報」創刊号を発刊。親睦会事業
7月	「一人1会員、一人1仕事開拓キャンペーン」を実施 新たな取組み「労働者派遣事業」を開始。会員を市や民間事業所へ派遣
平成28年6月	会員主体の「事業推進検討委員会」を理事会の下に配置
10月	シルバー人材センター法制化30周年。15日をシルバーの日と定める
平成29年4月	忍城が「続日本100名城」に、足袋蔵のまち行田が「日本遺産」に認定される
10月	地域情報誌の戸別配布事業開始
平成30年1月	行田市のふるさと納税記念品提供事業に参加。観光ガイドと空き家見守りサービス
11月	毎月1日を「安全・美化・健康の日」に制定
平成31年4月	「平成」が終わり、新元号「令和」の幕開け
令和元年6月 (2019年)	理事長に篠原 正直氏(会員)が就任
10月	輸送班が本格稼働。植木班や草刈り班の支援業務 「安全・美化・健康だより」発行開始。安全・適正就業推進委員会
12月	中国で原因不明の肺炎の集団感染が報告される。(新型コロナウイルスの感染拡大)
令和2年 4月	新型コロナ感染拡大による「緊急事態宣言」で就業を一部制限。親睦会の活動を全て中止
令和3年 3月	女性部会「ハンドメイドシュップむつみ」開設。手作り小物の展示販売
8月	自転車のパンク修理事業「サイクルサービスむつみ」が始動
令和4年	2020年の夏季オリンピック・パラリンピックがコロナ禍1年遅れで開催 令和2年1月以降、新型コロナウイルスは全世界に感染が拡大。日本国内でも流行の第1波が始まり、従来株が変異を繰り返して令和4年4月には第6波。世界の感染者累計は5億人を、累計死者数は620万人を超えた。国内でも感染者は累計724万6000人を、累計死者数は2万8000人を超え、感染拡大の終息は見えない。こうした環境は、センターの事業運営に少なからず影響し、親睦会の活動も大きく制約されている

思い出のアルバム(総会、センター落成式)

第1回定期総会 於 行田市商工センター研修室



昭和63年6月14日

平成30年度定期総会 於 行田市商工センター ホール



平成30年6月19日

令和2年度定期総会 於 行田市商工センター 研修室



令和2年6月22日

新シルバー人材センター落成式



平成19年3月31日

新型コロナウイルス禍での開催

思い出のアルバム(市民活動、健康維持活動)

「商工祭・忍城時代まつりへ継続して参加」



平成30年11月11日

野菜販売と手作り小物の販売



平成30年11月11日

シルバー人材センターのPR



「健康維持活動」



フレイル予防教室

令和元年6月12日



令和2年9月30日 体力測定

思い出のアルバム(懇親会、旅行など)

第1回新年懇親会 於 行田産業文化会館



平成元年1月25日

新年懇親会 於 ホテルガーデンパレス



平成30年1月30日

親睦会研修旅行(昭和62年度~)



平成24年11月5日~6日



平成27年10月25日~26日

観桜会 於 水城公園(平成10年度~28年度迄)



平成22年4月3日

日帰り旅行(平成29年度~)



国会見学

平成30年5月14日

浅草仲見世通り



福島への旅行で塔のへつり、大内宿、会津酒造歴史館、鶴が城博物館などを見学し、芦ノ牧温泉で宿泊



上山田温泉方面への旅行で上田城(日本100名城)、健康長寿のシンボルの「ぴんころ地蔵」、小諸ワイナリ等を見学

思い出のアルバム(会議・訓練・講習会他&情報誌)

地域班長会議



平成29年5月

防火訓練



令和2年1月

交通安全講習会



令和元年10月

パソコン学習会



平成28年4月

救命訓練



令和2年1月

防災講習会



令和2年1月

認知症予防ゲーム麻雀



平成29年7月

「シルバー人材センターの情報誌」



創立当時情報誌



現在情報誌

トピックス(功労者表彰)

シルバー人材センターの35年の歴史の礎を築くなど、貢献をされた方に対し記念品と感謝状をお贈りしました。



野原 泰弘さん

平成10年に入会。植木班に所属して就業し、在籍20余年。その間様々な要職に就き、シルバー人材センターの発展に大きく貢献されました。

特にセンターの活性化を図るために、事業推進検討委員会を立ち上げ、就業機会の拡大、会員の増強など、理事の先頭に立って直面する様々な課題の解決に取り組んでこられました。

一方で、センターの事業運営に、会員相互の交流はかせないものとし、親睦会の活性化に取り組み会員主導の広報の発行、会員サロンの開設に尽力、その功績は大変大きなものがあります。

主な役職 地域班東部ブロック長、安全・適正就業推進委員会委員長、事業推進検討委員会委員長、副理事長、会員親睦会会長など。



木口 浩子さん

平成24年8月に入会。同時に独自事業の野菜の生産販売に立ち上げから参加。リーダーとして事業の発展に力を尽くされました。平成26年には理事に就任し、事業推進検討委員会委員として各種研修・講習会を担当。また、女性会員のワークショップなど、女性の就業機会拡大、商業祭などのイベントにも積極的に参加して会員の増強に尽力。

一方で、会員親睦会の役員として長年会計係を担当。親睦会が発行する「広報」の編集委員として創刊当初から参加し、会員の就業先を訪問して取材し、柔らかい文章で紹介するなど、シルバー人材センターの発展に大きく寄与されました。

主な役職 理事、事業推進検討委員会委員、安全・適正就業推進委員会委員、親睦会役員など。

トピックス(ボランティア活動)

1. ボランティア活動の歴史と主な活動

平成2年10月に実施されたロータリークラブのボランティア活動に参加。市役所や駅周辺5カ所の空缶回収を実施。この活動は平成6年まで継続。

平成7年9月には会員(親睦会)の自主事業として、古代蓮の里の除草、清掃を行いました。この清掃ボランティアはその後、春と秋の年2回継続して実施しています。

春は、観光で訪れるお客様にきれいな公園を見ていただこうと、蓮の花が咲く前の6月に古代蓮の里で除草作業を実施。秋はブロック別に分かれて、古代蓮の里の他、水城公園、総合公園、元塚公園、さきたま古墳公園などで実施しています。



古代蓮の里公園



水城公園



さきたま古墳公園

2. その他のボランティア

忍川美化ウォーキング

5月9日、埼玉県主催の忍川美化ウォーキングが市内外から約350人が参加して行われました。このイベントにシルバー人材センターウォーキング同好会のメンバー10人が参加しました。

9時、おもてなし甲冑隊の出発の合図で、主催者から渡されたゴミ回収用の袋を手に産業文化会館を出発。行田市駅を通り、路上に落ちていたゴミを拾い、忍川に沿って路傍の草むらの中に隠れている空缶やプラスチックゴミを見つけながらさきたま古墳公園へ。ここでゴミを回収者に渡し、ゴールの忍城に向かう。11時30分に全コース9kmを踏破し、全員そろってゴールしました。



アレチウリの駆除

東部地域長野中央班の縫村義己さんをリーダーに、シルバー人材センター会員7人が9月3日、忍川に架かる千代田橋から野合橋までの約1.3kmの区間の両岸に生育する外来植物アレチウリの駆除を行いました。

アレチウリは北米原産で、その旺盛な繁殖力により在来の生態系を破壊し、動植物に悪影響を及ぼすとして、平成18年2月に特定外来種に指定されています。

アレチウリはその場に元々生えている他の植物に覆い被さるように成長し、下になった植物を枯らしてしまいます。また、その植物を利用している動物や昆虫にも影響が出る可能性があります。

この日、忍川の水際まで下りてアレチウリを探し、根から抜き取り、その場に放置して枯らしてしまいます。この活動は落ちた種が数年後に発芽するので、継続して行う必要があります。

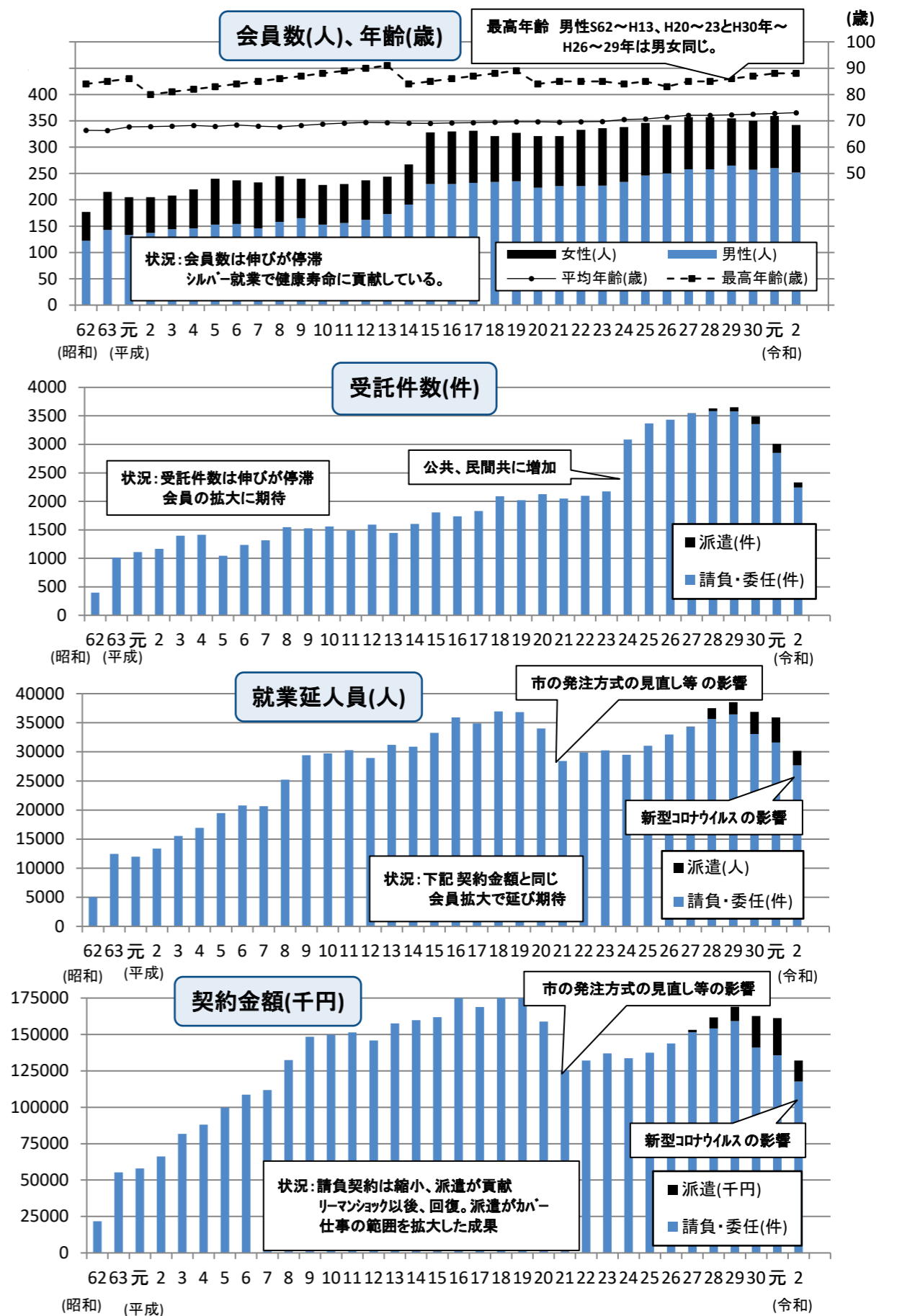


事業実績

1987年10月より示す

年度	会員数(人)		受託件数(件)		就業延人員(人)		契約金額(円)	
	男性	女性	請負・委任	派遣	請負・委任	派遣	請負・委任	派遣
昭和 62	177		396		4,998		21,681,390	
	122	55	396	0	4,998	0	21,681,390	0
63	215		1,012		12,455		55,376,508	
	143	72	1,012	0	12,455	0	55,376,508	0
平成 元	205		1,109		11,969		57,933,880	
	133	72	1,109	0	11,969	0	57,933,880	0
2	205		1,168		13,369		66,202,785	
	137	68	1,168	0	13,369	0	66,202,785	0
3	208		1,396		15,550		81,797,162	
	144	64	1,396	0	15,550	0	81,797,162	0
4	220		1,412		16,916		88,090,861	
	146	74	1,412	0	16,916	0	88,090,861	0
5	240		1,047		19,473		99,751,431	
	153	87	1,047	0	19,473	0	99,751,431	0
6	237		1,237		20,793		108,655,935	
	154	83	1,237	0	20,793	0	108,655,935	0
7	233		1,318		20,656		111,861,649	
	146	87	1,318	0	20,656	0	111,861,649	0
8	245		1,549		25,230		132,471,991	
	158	87	1,549	0	25,230	0	132,471,991	0
9	240		1,527		29,403		148,368,023	
	165	75	1,527	0	29,403	0	148,368,023	0
10	228		1,561		29,757		149,886,131	
	153	75	1,561	0	29,757	0	149,886,131	0
11	230		1,490		30,296		151,387,102	
	156	74	1,490	0	30,296	0	151,387,102	0
12	237		1,593		28,965		145,805,522	
	162	75	1,593	0	28,965	0	145,805,522	0
13	244		1,445		31,216		157,619,993	
	173	71	1,445	0	31,216	0	157,619,993	0
14	267		1,602		30,894		159,745,374	
	191	76	1,602	0	30,894	0	159,745,374	0
15	328		1,806		33,269		161,836,998	
	230	98	1,806	0	33,269	0	161,836,998	0
16	330		1,737		35,913		178,214,275	
	230	100	1,737	0	35,913	0	178,214,275	0
17	331		1,832		34,908		168,769,803	
	232	99	1,832	0	34,908	0	168,769,803	0
18	321		2,091		36,971		181,687,950	
	234	87	2,091	0	36,971	0	181,687,950	0
19	327		2,021		36,852		180,832,573	
	235	92	2,021	0	36,852	0	180,832,573	0
20	321		2,125		34,025		158,875,690	
	223	98	2,125	0	34,025	0	158,875,690	0
21	321		2,050		28,438		125,630,264	
	226	95	2,050	0	28,438	0	125,630,264	0
22	333		2,096		29,884		132,170,477	
	226	107	2,096	0	29,884	0	132,170,477	0
23	336		2,173		30,250		137,024,150	
	227	109	2,173	0	30,250	0	137,024,150	0
24	338		3,082		29,505		133,639,374	
	234	104	3,082	0	29,505	0	133,639,374	0
25	346		2,093		31,048		137,402,225	
	246	100	2,093	0	31,048	0	137,402,225	0
26	342		2,129		32,984		143,825,112	
	250	92	2,129	0	32,984	0	143,825,112	0
27	357		3,546		34,328		153,125,283	
	260	97	3,542	4	34,318	10	151,639,937	1,485,346
28	357		3,631		37,513		161,662,207	
	258	99	3,582	49	35,653	1,860	154,090,047	7,572,160
29	355		2,293		38,527		168,946,774	
	265	90	2,221	72	36,430	2,097	159,212,061	9,734,713
30	350		3,489		36,876		162,633,068	
	257	93	3,354	135	33,049	3,827	140,979,057	21,654,011
令和 元	359		3,006		35,908		161,174,997	
	260	99	2,849	157	31,582	4,326	135,765,299	25,409,698
2	342		2,332		30,193		132,069,677	
	252	90	2,243	89	27,674	2,519	117,650,469	14,419,208

事業実績(グラフ)

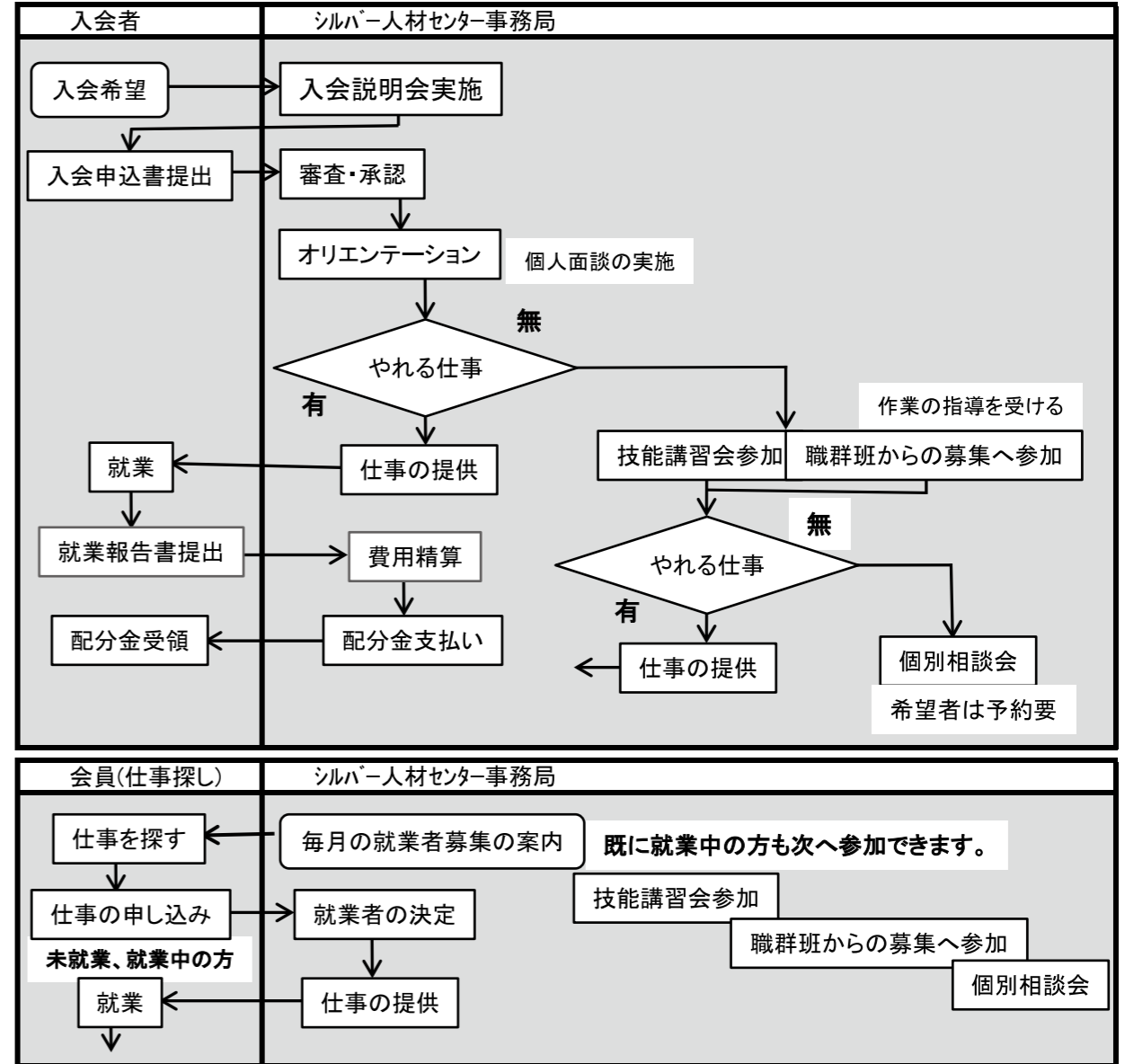


シルバー人材センターの紹介

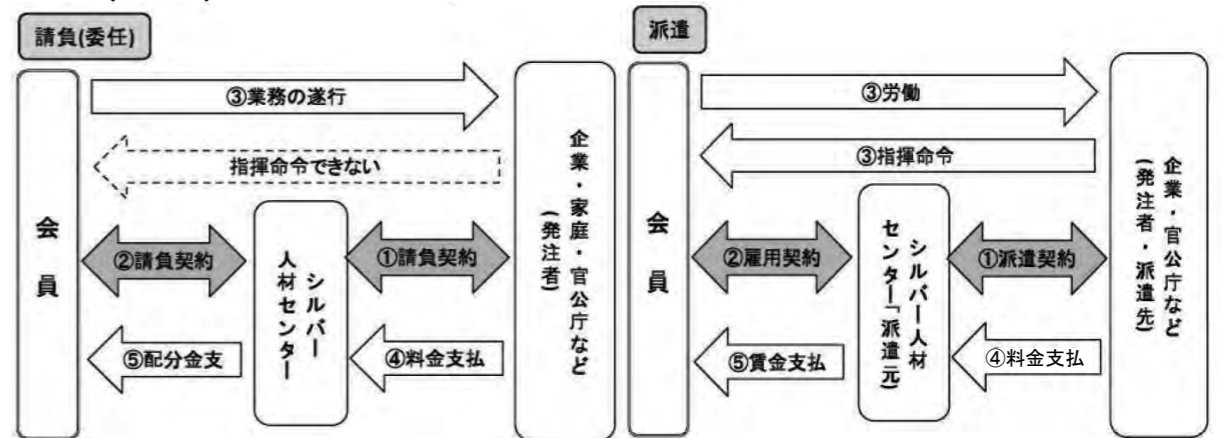
組織図



入会・就業までのプロセス



請負(委任)と派遣...業務の形態で区分



専門委員会

安全・適正就業推進委員会

活動内容は毎月1日に「安全・美化・健康の日」、第4水曜日に定例委員会の開催及び作業現場の巡回安全就業パトロール実施により、会員の安全・適正就業の確保に努めています。

委員会は理事3名、代表会員5名、事務局長、局員の10名の構成。毎年度の当シルバー人材センター年間計画に基づき事故“0”を目標に巡回時2～3件の就業現場を訪問、安全チェック表での確認、指導を行い、問題点あれば改善対策を検討、実施、フォローのステップで解決を行っています。

全会員には安全の意識高揚・激励・指導・PRとして通信便りを年4回程発行、委員会の現状の適時報告としています。

会員の平均年齢は70歳を越えており、安全・適正作業の確保は更に厳しい状況であり、その要として健康で、仲良く、楽しく、長く活動が続けられる様、委員一同努めてまいります。



(委員会の風景)



(巡回指導の風景)

事業推進検討委員会

当委員会は会員理事全員(10名)で構成し、理事会の意向を受けてセンター事業を運営する上で重要な役割を担います。3部会に分かれ、直面する様々な課題を取り上げ、事務局と連携して解決に取り組んでいます。

「事業担当部会」就業の適正化を図るための検討、高齢者の就業対策について、長期就労のありかたについての検討、その他

「顧客開拓・新規事業担当部会」新たな事業(独自事業)の創出、新規顧客の開拓(開拓員復活の検討)、会員による「一人1仕事開拓・一人1会員紹介」の充実。

「会員担当部会」女性会員の入会促進(入会しやすい環境作り)、女性会員の職域と就業の拡大、女性会員の交流の促進等。



(委員会の風景)

長期就業是正検討委員会

長期就労の是正は公平・公正なシルバー人材センター運営の要です。この委員会は民間・公共の全ての就業を5年限度の規程に従い、就業者状況を確認し、必要に応じて委員会で調整を行っています。

具体的には、長期就業者に対し事前に「就業期限到達事前通知書」その後、「就業期限完了通知書」を交付します。後任の選定は、対象となる就業先の情報を全会員に知らせ希望者を募ります。希望者多数の場合は、その時点で就業から離れている期間が長い方、希望者の適正、年齢等を考慮し、委員会にて選考します。又、応募者募集に満たない場合、不足人員分については、現に就業している会員の中から、就業履歴や適正等を考慮して後任者を選定しています。

尚、民間の長期就業是正は事業推進検討委員会で検討を重ねて決定して、令和3年4月から就業年数の長い方より順次行っています。



(委員会の風景)

安全・適正就業推進委員会年間活動計画

活動名	開催日	内 容
安全・美化・健康の日	毎月1日 (休日の場合は、翌日)	①センター敷地内使用施設の整理整頓、各班各自で使用器具の安全性及び身体の健康について定期的のチェックを行う
「安全・適正就業推進委員会」の開催	毎月第4水曜日 10時30分～	①毎月第4水曜日10時30分から委員会を開催 ②巡回指導の結果報告と安全就業対策について協議を行う
巡回指導	毎月第4水曜日 9時～	①毎月第4水曜日、9時から10時30分まで ②委員2名(輪番制)と事務局で就業先3、4カ所を巡回し就業状況を確認 ③巡回中特に安全上問題がある場合は、その場で安全指導を行う ④巡回結果については、定例委員会で報告
各種点検の見直し	随時	①巡回指導報告書等 ②各種マニュアル ③車両車検及び免許証等
機械、器具類の点検	年2回 6月・12月	①年2回、6月と12月に実施 ②三脚、刈払機、作業用自動車、その他の機械器具の点検 ③事務所、倉庫等の点検
安全講習会	11月・2月・3月	①職群別の講習会 ②野菜作り講習会 ③AED・防火訓練等
安全・美化・健康管理講習会	随時	①フレイル対策(体力測定・要介護予防) ②認知症サポーター養成講習 ③屋内清掃養成講習
交通安全講習会	10月	①交通安全講習
事故の把握・分析及び再発防止	随時	①会員の就業に係る事故が発生した場合、事故発生現場及び状況を確認する ②事故防止対策について検討し、再発防止の徹底を図る
安全就業啓発活動	随時	①安全就業についての情報を会員に周知を図る(月報・広報誌の活用)
外部主催研修会等への参加	7月	①埼玉県シルバー人材センター連合主催「安全就業推進大会」への参加

独自事業

観光ガイド

平成22年に「観光ガイド」の研修に会員12人が参加して開始、約1年に及び研修を終えて観光案内事業を平成23年10月に開始しました。

行田市は国宝「金錯銘鉄剣」が出土した稲荷山古墳をはじめ、9基の大型古墳がある「埼玉古墳群」、「続日本100名城」に選定された忍城、さらには平成29年4月には足袋蔵等多くの文化財で構成する「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち 行田」というストーリーで認定された埼玉県内初の日本遺産。こうした先人の残した歴史的文化遺産を訪ねて全国からお客様が行田を訪れます。その多くをセンターのガイドチームが案内。行田市の観光振興に一役買っていると自負しています。



シルバー農園

平成22年に「野菜の直売」と「シルバー農園」事業の準備を開始し、翌年6月に先行して野菜直売事業を開始。センターの自転車駐車場に店をオープンしました。

例年11月に開催される行田商工祭「忍城時代まつり」にも出店し、販売実績を上げています。出品者も徐々に増え、季節の野菜からお米、生花など、300点を越える商品が並びます。8時半の開店時にはお客さまの列ができます。朝のひと時、お客さまと会員の交流の場になっています。朝の混み合う時間は会員が交代で立会い、以後は無人販売。価格は全て100円。午後4時閉店です。



ハンドメイドショップ「むつみ」

ハンドメイドショップ「むつみ」は令和3年3月に女性の活躍の場にと、シルバー人材センター第2作業室内に開設しました。

展示されているのはクッションやベスト、ポーチ、手提げ袋、小物入れ、マスクなど、女性会員が趣味で制作した手作り作品。中には男性会員が制作した孫の手や竹トンボ等の竹細工も。販売価格は上限を2,000円として、出品者が自由に。販売時間は午前9時から午後5時。買い求めは事務局へ。



(女性部会の活動風景)

サイクルサービス「むつみ」

令和3年8月、自転車のパンク修理に特化した独自事業を開始しました。パンク修理は、一般社団法人車両検査協会の「自転車技士」の資格を持つ当センター会員の指導で研修した5名のスタッフが担当します。

センターに修理依頼をすると、内容によって概算見積をお知らせします。修理は原則としてセンターに引き取って行き、修了後にお届けします。

現在、「自転車パンク修理いたします」と、のぼり旗を掲げて一般に告知し、会員には会報で事業案内をしています。



就業現場 — 情報誌「広報」より

明和グラビア 行田工場 (令和3年10月)



会員22人が就業する明和グラビア行田工場を訪問しました。同工場では、塩化ビニールにさまざまな模様をプリントしてテーブルクロスや窓飾りシートなどのインテリア用品の他、バットマットのようなバット用品などを製造しています。就業は、AチームとBチームに分かれ、週に2日から3日のローテーション。9時に朝礼。その日の作業内容をリーダーから説明を受けて作業を開始。原反をカットして巻いた製品を包装し、検品して箱に入れる迄の5工程を流れ作業で。17時終業。「手を休めている人はいません。チームワークも良く和気あいあい、楽しく就業しています」と。

草刈り班 (令和3年7月)



6月から7月には雑草が繁茂する。この時期には一気に受注が増えます。センターの草刈り班は3チーム10人。この日は鈴木重成さん、出川元治さん、手嶋伸さんの作業する現場を訪ねました。

草刈機を使つての作業は石が跳ねて体に当たってけがをしたり、飛んで家のガラスを割る事故が多く発生しています。そのためセンターでは、就業者には埼玉県林業協会などが実施する「刈払機安全衛生教育講習」の受講を義務付けています。

ヘルメットに目を保護するゴーグルをかけて、3人が間隔を取って腰の高さまで伸びた草を手際よく刈り取っていきます。草いきれいしていた空き地が瞬く間にサッパリときれいに。

JR行田駅前自転車駐車場の整理 (令和2年10月)



JR行田駅の駅前自転車駐車場の整理を担当しているのが会員の萩原勝利、井澤照雄、荻野清一、中山恭正、伊藤貞雄の皆さん。駐車場は吉里山と清水町、それに臨時駐車場を合わせた駐車可能台数は1,800台。利用者は行田市民の他、隣接する熊谷市や鴻巣市の人も多い。就業は土、日、祭日を除く毎日。午前6時半から8時半まで。後に1人が残って10時まで。作業開始10分前に全員でミーティング。その後それぞれの

持ち場へ行って作業開始。利用者の自転車をきちんと並べていく。通勤時間になると一気に自転車の数が増える。整理が一段落すると清掃。「規則正しい生活ができ、適度な運動にもなります。毎朝顔を合わせる利用者との触れ合いを楽しんでいます」と。



就業現場 — 情報誌「広報」より

総合公園の除草作業 充実した日々を (令和2年7月)



総合公園は、野球場やテニスコート、少年サッカーができる自由広場、グランドゴルフなどができる多目的広場、弓道場などが併設されているスポーツ公園。就業しているのは戸塚誠一、平塚文夫、木元健一、茂木正夫の皆さん。通常は3人で就業し、1人が休みのローテーション。就業時間は9時から15時。

「この仕事で、充実した1日を送ることができています」と。新型コロナウイルスに夏の暑さの熱中症。「健康管理には特に気を使っています。仲間に迷惑をかけますから」と。敷地が広いので、お互いに目の届く所で作業をするようにしているとのこと。

輸送班 楽しみながらの作業 「健康的な仕事です」 (令和2年1月)



輸送班は、植木班や草刈り班、草取り班の人手不足を補い、作業効率を上げることを目的に平成30年10月から1年間のテスト期間を経て令和元年10月に本格的に稼働を始めました。大島二郎さん、横川藤雄さん、川久保敏雄さん、赤羽良介さんが従事しています。作業内容は、植木班や草刈り班の作業で出たゴミ(枝や草)を処理場に運ぶこと。植木班からは「ゴミの運搬がなくなったので、早く作業を終えることができる」と好評。各植木班の作業に合わせるため、ロス時間が多くなってしまうという課題もあるようですが「仲間と一緒に楽しみながら作業をしています」と。



「行田さくらそう」 緑の管理に好評価 (令和元年1月)

当センター会員の武田芳信さんと西尾三男さんが施設の設立当初から庭の管理をしている特別養護老人ホーム「さくらそう」に9月13日、埼玉県東部環境管理事務所の企画調整担当者が、緑化計画に基づく現況調査に訪れました。さくらそうの施設長が「全てシルバー人材センターにお願いしています」と説明。視察した担当者からは「施設内の芝生や樹木がこれまで管理されているのは素晴らしい」と、高く評価されました。

当初は芝が枯れ、雑草は伸び放題。根気よく雑草を根から取り、芝には専門書を見ながら土を入れ、肥料を施して2年。「ようやく緑豊かな庭になりました」と。



古代蓮の里 除草から肥料作り (平成31年4月)



古代蓮の里で除草作業に従事している栗原進さん、近藤昭太郎さん、外山勉さんをお訪ねしてお話を伺いました。季節によって作業日数が変わりますが、冬季は週3日程度の就業です。刈払機の入らない細かい場所の草取り、暑くなると蓮池から湧いてくる藻の除去、秋から冬にかけては落ち葉を集めて牡丹園などに入れる肥料作りも仕事の一つ。「今や全国区の古代蓮ですから、観光で来るお客さんに喜んでもらえれば」と。

1月のロウバイと梅に始まり桜、牡丹、そして古代蓮と、四季を通して美しく咲く花の陰で目立つことなく作業を続けている皆さん。

植木班の剪定技術 (平成31年1月)



植木班リーダーの長谷川岩男さんにお話を伺いました。大好きな植木の手入れを仕事にして10年になるそうです。技術面でもお客様から高い評価をいただいています。

現在、植木班のメンバーは20人で、6つの班に分かれて就業しています。「各チームがそれぞれお客様の要望に応えられるように日々研鑽を積みながら作業に取り組んでいます。植木の手入れには高所作業もあり安全が第一です。また、夏の暑さの中での作業は特に熱中症に注意を払っています」。健康の秘訣は「早寝早起き、バランスの良い食事を摂り、何よりも笑顔で過ごすこと」と長谷川さん。

障子・襖の張替え (平成30年10月)

表具班は丸山日出雄さんを筆頭に栗原彪さん、大谷昌利さん、河原道喜さんの4人。シルバー人材センター内の作業所で障子や襖、網戸の張り替えを行っています。センターに仕事の電話が入ると、お客様宅から品物を引き取り、張り替えをして納品します。丁寧な仕事はお客様に好評です。全員が経験者ということではなく、シルバー人材センターに入会してから学んだ人も。さらに技能講習会でスキルアップを図っています。

きれいに仕上げたお客様に「部屋が明るくなったと、喜んでもらえることが一番。お盆前と10月から暮れまでは大忙しです」と、話す皆さん。



就業現場 — 情報誌「広報」より

自治会の資源ゴミ 回収の立ち会い (平成30年4月)

自治会会員が交代で行っている資源ゴミ回収の立ち会いを、センターが代行して行っています。地域支援として7年前から就業しているのは、会員の山岸俱夫さん。

毎月第1月曜日は蛍光灯や乾電池、ガスライターなどの「有害ゴミ」、第1土曜日は紙や布類、第2・第4月曜日はビンと缶類、第3火曜日は粗大ゴミ。それぞれ前日に分別用の看板を出し、カゴを並べて用意。翌日の回収日には業者の回収時間に合せて立会う。回収後にかごや看板をかたずけて、周辺を清掃して作業終了。今では自治会にとって山岸さんは、なくてはならない存在になっています。



地域みっちゃく情報誌の配布 (平成30年1月)

平成29年10月から、広告会社が発行する地域情報誌の戸別配布を受注し、会員30人がポストイングを。この情報誌は、行田市と鴻巣市のイベント情報やグルメ情報、求人情報、読者のページなど、地域に密着した生活情報を掲載しています。

毎月1回発行で、部数は行田市と鴻巣市を合わせて5万部。現在、当センターでは約1万5千部を市街化区域に配布しています。月末の1週間前にセンターに届く情報誌を地域別に細かく分けて担当者に。少ない人は200部、多い人は2,000部を超える人も。月末までに各家庭に配布します。



総合公園弓道場の管理 (平成29年10月)



総合公園の一角にある弓道場に5年前から就業して、10月に引退した小川慎一さんと、新たに10月から就業した小林英興さんをお訪ねしました。総合公園には、弓道場の他に清掃や草取りなどにセンター会員13人が就業しています。

弓道場の就業は、小林さんと川野勝海さん2人の交替で土曜日、日曜日、祭日の午前9時から午後5時まで。朝、木戸のカギを開けてから玄関と弓道場のシャッターを開け、外部の清掃。利用者の受付と使用料金の受け取りなど、施設の管理が主な仕事。

小川さんは「楽しい5年間だった」と振り返っていました。

火災報知器設置支援 (平成29年4月)



当センター会員5人が行田市消防本部で、火災報知機の取り付け研修を受け、住宅用火災報知器設置支援事業を開始しました。行田市の火災予防条例で平成23年6月1日から、新築・既存に関係なく全ての住宅に火災報知機の設置が義務付けられました。「設置及び維持管理に関する規則」に設置場所や設置位置、警報器の種類などが定められています。住宅火災の死者数は平成17年をピークに減少傾向にありますが、高齢者の火災による死亡は増加。その多くは就眠中に発生しています。

ベルク城西店 (平成29年1月)



関東地方に店舗を展開する食品スーパーマーケット「ベルク」。行田市内の長野店、行田店、城西店の3店舗に会員8人が就業しています。その城西店に就業する管野秀信さんを訪ねました。

作業は、ショッピングカートの回収・整理と資源ゴミの分別・整理で3人が2日おきのローテーション。午後2時から5時までの就業。

ベルクの制服を着てテキパキとカートを整理する管野さん。「仕事自体は苦勞することはありませんが、夏の暑い中での屋外作業は大変です。お客様の対応に気を使います。小さなお子さんとの触れ合いは心が和みます」と管野さん。

学童保育室に (平成28年7月)



東学童保育室と太田西学童保育室、泉太井学童保育室の補助員として会員13人が就業しています。平日は午後3時から6時までと、4時から7時までのローテーションで就業。対象児童は小学1年生から6年生まで。近藤昭太郎さんの就業する太田西学童保育室は、児童数が10人。3時になると授業を終えた児童が保育室に。「お帰りなさい」と児童を迎え、まず宿題に付き合う。4時はおやつ時間。自由時間は児童の遊び相手を。将棋やトランプ遊びの相手をしたり、女子児童と一緒に塗り絵をしたり。近藤さんの手品も大人気。児童と過ごす時間を楽しんでいるようです。

就業現場 — 情報誌「広報」より

コミュニティセンター「みずしろ」 (平成28年4月)



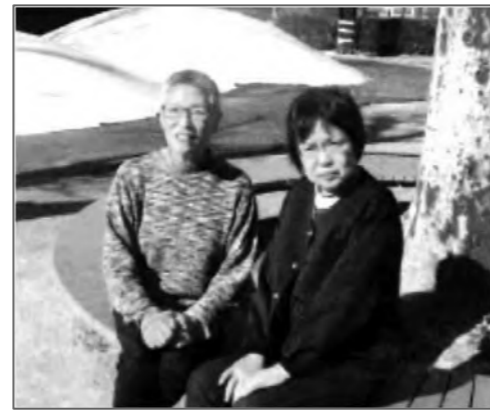
「みずしろ」は市民が自由に集い、ふれあうための施設。囲碁や将棋の常連さんをはじめ、毎日たくさんのサークルの人たちが利用しています。この施設管理に会員5人が就業しています。午前8時45分から午後5時45分までと、午後5時45分から午後9時45分まで。朝、玄関の解錠から夜の施錠まで「みずしろ」と「婦人ホーム」の部屋の予約受付から鍵の受け渡し、使用後の点検が主な業務となっています。場所柄、忍城や古代蓮の里など、観光名所の道を探ねてくるお客さんも多いとか。

チームワークも良く、メンバー全員が緊張感の中、楽しく就業しています。

きっずプラザ・あおい (平成28年1月)

きっずプラザ「あおい」は子育て支援の拠点で、屋内には幼児が保護者と一緒に遊べるプレールーム、身長や体重測定などできる多目的室、ベビーベッドや授乳スペースも設けられている。また、屋外には小さな子供が安全に遊べる遊具の揃った公園が併設されています。この施設に会員の澁澤弘子さんと木村久枝さんが就業しています。

週に1回、屋外公園のみ開放する火曜日。午前8時30分から午後5時まで、午前と午後に分けて交代で。主な業務は受付事務。「保護者と一緒なので安心です。顔馴染みの小さなお子さんが声をかけてくれます。かわいいですよ」と。



古代蓮の里の売店 (平成27年10月)



古代蓮公園の売店に会員2人がローテーションで就業しています。富岡秀夫さんの担当は、火、木、土の3日間。午前8時から9時までの1時間と、午後4時から5時までの1時間。朝は店のカギを開けて開店の準備。売店には、観光客のためのお土産品の他、行田市の特産物や農産物、草花なども販売しています。

梅や桜、古代蓮などの花の季節には、市内外から多くのお客さんが訪れ、市内観光に関する質問を多く受けるようです。富岡さんはシルバー人材センター観光ガイドのメンバーでもあり、案内はお客様の物。丁寧な案内は、お客さんに好評です。

お客様の声 お手紙の紹介(原文ママ)

植木・剪定

師走も半ば、お忙しい日をお過ごしのことと思います。今回で二回目の植木剪定をお願いいたしました私、石田と申します。

この度は、請求書と共に写真を送っていただき、見て とても丁寧に作業をしてくださったことが分かり、感激しております。ありがとうございました。

この気持ちをお伝えしたく手紙としました。11月に請求額は振り込みますので、ご確認くださいませ。皆様の今後の喜ばれるお仕事と、ご健康を祈念いたしております。

観光ガイド

過日は古墳のガイドをして下さりまして誠にありがとうございます。短い時間で密度の高いご説明で、学ぶ点がたくさんありました。

私は東京五輪の水不足と武蔵水路のお話しが最も印象に残りました。娘の とわ は稲荷山古墳の頂上から見えた富士山が意外で、新しい発見だったようです。鳥の鳴き声も耳の奥に残っていると話しています。

今後も益々ご活躍されることと思いますが、お身体にお気をつけて、感謝。

観光ガイド

過日、12月20日(金)は忍城、石田堤及び さきたま古墳群をご案内して戴き誠にありがとうございました。奥田様の豊富な知識に裏付けされた巧みで熱心なご説明のお陰で、大変楽しいひと時を過ごさせて戴きました。又、当日は好天に恵まれ、丸墓山古墳から遠方の景色も一望出来たことは何よりでした。その時に撮影した写真を同封致しますのでご笑納ください。

一緒に旅をしている大庭基臣翁も奥田様の親身なご説明とご案内に感心しており、「くれぐれも宜しくお伝えください」との事でした。

最後に貴殿の益々のご健勝を祈念しております。



お客様からの手紙



忍城跡(上)・丸墓山古墳(右)を案内する観光ガイドスタッフ



会員からの一言



鈴木 征子 会員

「地域の声を聞きながら頑張ってます」

シルバー人材センターに入会して10年が過ぎました。仕事としては、お寺の封入れ作業や選挙の期日前投票の案内などをしました。そんな中「地域の人たちに何か貢献できたら」ということから、野菜の販売が始まりました。

全ての品物が100円という安さもあってか、販売開始時間が7時半というのに、早い人は6時ごろから並び始めます。話をお伺いすると「野菜を買うのは勿論、近所の人たちや会員の皆さんに会えるのが楽しみ」ということでした。

今ではお客様と会員の皆さんの交流が盛んになり、野菜の名前や調理方法をお互いに教えあっています。

今はコロナ禍で、野菜は無人販売になりました。コロナの早い終息を願いながら、地域の人たちに親しまれるように利用者の声を聞きながら頑張っていきたいと思えます。



小林 栄次郎 会員

「いろいろな仕事で勉強になりました」

平成24年入会。今迄の就業実績は次の通りです。

①倉庫内でのタバコの販売用ケースの解体分別作業では、突然、全員に就業中止が言い渡されたのが印象に残っています。②観光ガイドでは忍城やさきたま古墳、古代蓮の里、足袋蔵など、行田の歴史が学べました。③コミセンみずしろでの受付業務は、各利用団体の予約受付、鍵の受け渡し、集金計算など、ミスの無いようにしました。色々な市民の方、団体の方々に触れ合えてとても勉強になりました。④現在就業中の児童交通公園施設管理は、窓口業務と保守管理です。メインの除草作業は夏の暑さと冬の寒さが大変です。近隣の住民の皆さんと公園利用者との挨拶は大事にしています。



西尾 三男 会員

「施設の庭全般の管理を楽しくやっています」

会社生活を終え、数年ブラブラしていましたが、一念発起してシルバー人材センターへ入会しました。会社では殆どデスクワークで、庭いじり等の趣味も無く不安でしたが、老人ホームの庭の管理に就きました。施設は立ち上げ直後でしたので、広い庭の草取りや芝生への水遣りが主な仕事でした。芝生や庭木が成長するにつれ、作業は芝生の世話（芝刈り、施肥、除草 他）がメインとなりました。世話に障害となる庭木の枝払いも次第にするようになり、作業が面白くなりました。

知識も無いのに花壇制作へ挑戦し、今は花壇の世話もやっています。

現在、5年目となりましたが、2年前には古希記念に富士登山を敢行し体力を確認できました。

今は5年後の喜寿の目標(?)に向かって仕事や、低山ハイキング等に励んでいて、おかげさまで健康で充実した日々を過ごしております。



吉田 憲昭 会員

「異業種に勤務して、感謝の日々」

高校を卒業してから65歳まで金融機関に勤務していましたが、在職中55歳より自治会の会計として10年、65歳のリタイア後から、ひまつぶしにと自治会長及び衛生協力会長を兼務し活動していましたが、69歳になった頃から忙しくはあったのですが、何か物足りなさを感じ、仕事をしたいと思い始めました。

新聞の求人広告などを見ても70歳になる年齢では、働ける職がないと気づき、シルバー人材センターのお世話になり、明和グラビアに勤務することになりました。包装・梱包作業は全くに異業種で、なかなか仕事になれない日が続きましたが、一緒に勤務する先輩方が親切に声をかけて下さり、作業手順で効率的な進め方を教えて下さったり、作業の間違えを正して下さいたり、生まれつき手先が不器用な私が携わっている作業をフォローして下さったりと、感謝の日々でした。

今日まで心掛けている事は、無理せず怪我せず健康管理。年齢に見合った動作。冷えと疲れはシニアにとっては大敵です。



塚田 典子 会員

「丁寧な研修を受け、観光ガイドに」

一昨年に東大宮から引っ越してきたとき、この街に知り合いはいなかった。でも現在はシルバー人材センターのおかげで多くの知り合いに恵まれて、元気に暮らしています。

引越し先に行田を選んだのは、たくさんの神社仏閣が昔の面影を残したまま存在していることに感動したからです。神様や仏様を守り敬える優しい人々の暮らし豊かな街は、きっと暮らしやすい所だろうと想像できました。

人材センターを訪問し、どうやってガイドになれるのか事務所の方に問うと、ガイドの責任者に電話して下さいと名前と電話番号を渡されました。電話をしてからはとんとん拍子に話が進み、ガイド研修を受けることになりました。

丁寧な研修を受けて6カ月後には、足袋蔵の案内でガイドデビューをすることができました。行田に溶け込めたのは、シルバー人材センターを訪ねたからと思っています。



小林 良次 会員

「良き指導者を目指して」

学校を卒業して小さな会社に就職したのは昭和49年の春。学生1人に40社以上が殺到した夢のような時代だった。終身雇用制の下で、定年まで「勤め上げる」のが当時の常識で、私も例に違わず42年がそこで経過した。

退職して思い知らされたのは、会社以外に何も知らない哀れな自分だ。それから未知なる実社会、未知なる人との交流への挑戦が始まる。

暫くして幸運にも市内スポーツ施設管理員の職を得たが、それも70歳の春で終了。さて次はどうするか。思いついたのがシルバー人材センターだ。2月に門を叩き、3月に会員になった。私は自身を強運の持ち主とは思っていないが、ただ一つの職場でも心優しく指導熱心な先達に恵まれたことは幸運と感謝している。いつか将来、そんな良き指導者となることを目指して、今は必死で先月から就職した新たな仕事を覚える日々が続いている。

親睦会の紹介



創立35周年 感謝を込めて 親睦会会長 紺野 仁

この度、行田市シルバー人材センターはめでたく35周年を迎えることができました。これはひとえに歴代の多くの関係各位の努力の賜物と考えております。私としても考えひとしおでございます。

今後はますます高齢化が進み、健康寿命も延び、センターの役割が今以上に重要になってくると思います。現在65歳定年制が定着し、会員の平均年齢も73歳に近づき、センター運営は過渡期を迎えております。

親睦会は高齢者が仕事だけでなく、様々な行事を通じて社会に貢献できる組織作りを目指しております。

これからも会員の皆様と共に親睦会を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願い申し上げます。

親睦会の概要

1 目的

会員相互の親睦と福祉の増進を図ると共に、連帯意識の高揚に努め、センターの発展と円滑な運営に寄与する

2 事務局

会の事務局は、センター事務局内に置く

3 役員

- 1 会長 1名
- 1 副会長 2名
- 1 会計 2名
- 1 幹事 20名以上25名以内(各地班班長)
- 1 監事 2名

4 事業

- 1 ボランティア活動などで共働・共助と社会参加の実践
- 1 連帯と親睦を深める
新年懇親会、宿泊研修旅行、日帰りバス旅行等
- 1 見舞金、弔慰金の贈与、及び喜寿等の慶祝
- 1 機関紙「広報」の発行
- 1 会員サロンの運営

5 サークル活動

平成元年	書道部 発足	平成25年	ウォーキング同好会 発足
平成2年	カラオケ交友会 発足	平成27年	パソコンクラブ 発足
平成11年	光彩会(写真愛好会) 発足	平成30年	古文書愛好会 発足
	萌黄会(俳句) 発足	平成31年	歴史・文化サークル 発足
平成16年	ゴルフ愛好会 発足	令和3年	パークゴルフクラブ 発足
平成21年	詩吟同交会 発足	令和4年	手づくりサークルむつみ 発足

令和4年4月現在、カラオケ交友会、SC卓球日曜クラブ、ゴルフ愛好会、ウォーキング同好会、古文書愛好会、歴史・文化サークル、パークゴルフクラブ、手づくりサークルむつみの8サークルが活動中。

年間行事・ボランティア活動、会員サロン

年間行事・ボランティア活動

年度	観桜会⇒日帰り旅行	1泊親睦研修旅行	ボランティア(除草・清掃等)		新年懇親会	歴代会長(※2)
			春	秋(※1)		
昭和62年度	—	沼田 館林市(水上温泉)	—	—	—	大野 源一
63年度	—	伊香保町	—	—	産業文化会館	
平成元年度	—	鹿沼、今市	—	—	産業文化会館	
平成2年度	—	鹿沼市	—	市役所・駅/空缶回収	商工センター	
3年度	—	高崎市(老神温泉)	—	市役所・駅/空缶回収	産業文化会館	
4年度	—	北茨城市	—	市役所・駅/空缶回収	商工センター	
5年度	—	石和町	—	—	商工センター	
6年度	—	銚子市	—	市役所・駅/空缶回収	産業文化会館	
7年度	—	勝浦市	—	古代蓮の里	産業文化会館	
8年度	—	いわき市	—	—	産業文化会館	
9年度	—	草津町	—	—	商工センター	荻野 守二
10年度	水城公園	— 御宿町	古代蓮の里	—	商工センター	
11年度	水城公園	— 熱海～鎌倉市	古代蓮の里	—	商工センター	
12年度	水城公園	— 山梨・諏訪・善光寺	古代蓮の里	—	商工センター	
13年度	水城公園	— 燕三条・月岡他	古代蓮の里	—	商工センター	
14年度	水城公園	— 磐梯熱海温泉	古代蓮の里	—	商工センター	
15年度	雨天センター内	— 青葉城・松島他	古代蓮の里	—	商工センター	
16年度	水城公園	— 忍野八海・昇仙峡他	古代蓮の里	水城公園・持田公民館他	商工センター	
17年度	水城公園	— 三嶋大社・堂ヶ島他	古代蓮の里	総合公園・持田公民館他	商工センター	
18年度	水城公園	— 二本松・穴原温泉他	古代蓮の里	持田公民館・児童公園他	商工センター	
19年度	水城公園	— 鋸山・小湊温泉他	古代蓮の里	古代蓮の里・水城公園他	商工センター	
20年度	水城公園	— 燕三条・岩室温泉他	古代蓮の里	古代蓮の里・総合公園他	商工センター	光山 文雄
21年度	水城公園	— 日光・湯西川温泉他	古代蓮の里	古代蓮の里・総合公園他	商工センター	門井 誠吉
22年度	水城公園	— 新潟 瓢湖・村上他	古代蓮の里	古代蓮の里・元塚公園他	行田平安閣	松本 晃一
23年度	中止	— 武田神社・忍野八海他	中止	古代蓮の里・元塚公園他	ホテル・デンプレス	
24年度	水城公園	— 鶴ヶ城・芦ノ牧温泉他	中止	古代蓮の里・元塚公園他	ホテル・デンプレス	野原 泰弘
25年度	水城公園	— 那須塩原温泉他	古代蓮の里	水城公園・古代蓮の里他	ホテル・デンプレス	
26年度	水城公園	— 日光市・鬼怒川温泉他	中止	水城公園・古代蓮の里他	ホテル・デンプレス	東 和幸
27年度	水城公園	— 上山田温泉、上田城他	古代蓮の里	中止	ハルヴェイアイトピア	篠原 正直
28年度	水城公園	— 北茨城・五浦温泉	古代蓮の里	水城公園・キッズプラザ	ホテル・デンプレス	
29年度	—	山梨・富士芝桜他	千葉 勝浦温泉	古代蓮の里	ホテル・デンプレス	
30年度	—	国会議事堂・浅草	寺泊・燕三条他	古代蓮の里	水城公園	ホテル・デンプレス
令和元年度	—	上田城址公園他	須賀川・会津武家屋敷	古代蓮の里	さきたま古墳公園	ホテル・デンプレス
2年度	—	中止	中止	中止	中止	紺野 仁
3年度	—	中止	中止	中止	中止	

※1.平成16年度から「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合せて、毎年10月に実施。 ※2.H2～9:推定

会員サロン

平成28年6月、会員が自由に交流し、親睦を深めることをも目的に運営する「会員サロン」がセンター第二作業室にオープンしました。

地域班の交流やサークル活動、趣味の集まり、有志の学習会など、会員が自由に利用することができます。サロンには囲碁や将棋セットの他、簡単な喫茶セット(セルフ)も用意してあります。利用は毎週金曜日の午後2時から5時。サロン開催日には、運営委員が交代で当直しています。



サークル活動

ウォーキング同好会



・活動
毎月第2土曜日(行田市近郊)と第4土曜日(遠征)の2回
夏季(7月・8月)と冬季(1月・2月)は休会、また6月の第2土曜日は
ボランティア活動のため休会とします。
代表者:兼田 茂海

・内容 情報誌「広報」より
某月某日、秩父の阿四屋山(あずまやさん)の中腹にあり、フクジュソウ
が自生するロウバイ園を散策。道の駅「両神温泉・薬師の湯」に立ち寄
り、荒川の河川敷で納会の鍋を囲みました。

ゴルフ愛好会



・活動
年間スケジュールは、春と秋の2回コンペ開催しています。その他に
毎月1回、第2火曜日に有志で1組か2組でプライベートコンペ開
催しています。(1月、2月、7月、8月は休み)
代表者:西依 英文

・内容 ルールは健康管理に重点をおいています。(オール6インチ、
OK有り、75歳以上第一弾レディース可、等々)会費募って、表彰式
も行っています。会員は24名、元シルバー人材センターの卒業生や、
その友達等々で和気あいあいとプレーしています。
会費不要初心者歓迎、皆さんの参加をお待ちしております。

カラオケ交友会



・活動
毎週土曜日の午前11時～午後3時、老人福祉センター南河原荘で
代表者:峯川 茂夫

・内容 情報誌「広報」より
カラオケ交友会を訪ねました。南河原荘で練習をしている他、忘年会
や新年会、一泊旅行なども行っています。昨年は、むさしの村のカラ
オケ大会にも出場しました。また、シルバー人材センター親睦会の
新年会や研修旅行では熱唱して会場を盛りあげています。南河原荘
は入館料100円が必要ですが、入浴設備もあります。

SC日曜クラブ(卓球)



・活動
毎週日曜日の午前10時～12時、行田市総合体育館で。
代表者:林 敬三郎

・内容 情報誌「広報」より
卓球日曜クラブを訪ねました。パワーあふれるフォームで白球を追う
クラブ員の皆さん。館内には元気な声や笑い声が響いてきます。
皆さん年齢を感じさせない動きで白球のラリーも楽しんでます。「卓
球で汗を流すこと」と「おしゃべり」が元気の基のようです。

古文書愛好会



・活動
第2、第4金曜日の午前10時30分～12時、センター講習室、
会費は月額500円
代表者:今村 進

・内容 情報誌「広報」より
主な目的は①会員が蓄積している経験や古文書解読知識を共有し、
希望者全員が近世の古文書を読めるようにする②様々な角度から折々
の時代状況を洞察し、江戸時代の息遣いを体感して楽しむ③在野に
埋もれている行田市関係古文書の発掘に努める等。

歴史・文化サークル



・活動
毎月第4水曜日の午後1時30分～ センター講習室
代表者:紺野 仁

・内容 当サークルは主にガイド業務を行っている会員のガイド情報の
共有及び知識の向上を目的に、情報交換・歴史等の勉強会を開催
しております。ガイド業務は主に市内外の団体客を、国の特別史跡の
埼玉古墳群・関東七名城で石田三成の水攻めにも耐え、浮き城の別
名を持つ「忍城跡」・埼玉県唯一の日本遺産「足袋蔵のまち行田」・
ギネス記録に認定「田んぼアート」・古代蓮の里等をご案内しております。

パークゴルフクラブ



・活動
例会は毎週水曜日、鴻巣市吹上パークゴルフ場で、集合9時15分、
9時30分スタート。(会員は男性8人、女性8人)
代表者:兼田茂海

・内容 パークゴルフは、健康で心豊かなライフサイクルを作る
「生涯スポーツ」として注目を集めています。
鴻巣市吹上パークゴルフ場は埼玉県内で最大の規模(総面積45,828
m²、距離1923m、36ホール)を誇る日本パークゴルフ協会公認コース
です。荒川の河川敷にあり、春には3,000万本ともいわれるポピー、秋
には1,000万本といわれるコスモスの花に囲まれたコースで、談笑しながら楽しくプレーをしています。

手づくりサークルむつみ



・活動
毎月第4金曜日、午後1時30分～3時、センター第2作業室
代表者:森田あつ子

・内容 主な目的は女性会員の生きがいくつくりと交流の促進を図るも
のです。
女性会員の皆さんと手づくりの楽しさを共有・情報交換をしていき
たいと思います。
皆さんの参加をお待ちしています。

現役員・職員紹介

役員



(円内)

- | | | | | | | | |
|----|----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|
| 後列 | 監事
柴崎 英明 | 理事(会員)
西尾 三男 | 理事(会員)
岸 行男 | 理事(会員)
坂田 晃 | 理事(会員)
山田 美津江 | 理事(会員)
森田 あつ子 | |
| 前列 | 理事(会員)
大塚 佐 | 監事
府川 吉延 | 副理事長(会員)
島田 靖 | 理事長(会員)
篠原 正直 | 理事
松浦 由加子 | 理事(会員)
長谷川 岩男 | 理事(会員)
紺野 仁 |

創立 35 周年記念の実行委員会のメンバーは本件を立案した事業推進検討委員会と同じです。この委員会は上記役員の内、会員理事で構成されています。

職員



- | | | | |
|---------------|-------------|---------------|--------------|
| 嘱託職員
齋藤 諒太 | 次長
小倉 光久 | 事務局長
室久 一英 | 主査
野村 千寿子 |
|---------------|-------------|---------------|--------------|



(受付、相談等に対応する事務局)



(シルバー人材センター外観)

編集後記

行田市シルバー人材センター（略称SC）事業推進検討委員会では、SCが令和4年で創立35周年を迎えることを踏まえ、記念誌発行等の事業を立案し、担当の2名が令和2年7月から先行して検討をスタートさせ、記念誌は令和4年の総会時期の完成を目指すこととしました。

記念誌作成に取り組むに当たり、事業実績、歴代役員、親睦会の活動等のデータの収集から始めました。創立以来、30年余の間これらを纏めたものは無く、この機会を逸してはならないとの思いを共有し、関係各位の協力を頂き記念誌の構成を検討しました。

構成内容を委員会に諮り、令和3年度総会以後に、委員会を実行委員会として編集作業に取り組みました。特長としてはSCを理解し易い図表の使用と多くの就業現場の紹介を掲載したものです。是非、ご利用いただければ幸いです。 実行委員会 西尾 三男

発行・編集

公益社団法人 行田市シルバー人材センター
〒362-0074 埼玉県行田市旭町13番24号
TEL(048)556-5221 FAX(048)554-2586
<https://www.silver-brain.com/saitama/gyoda>
発行日:令和4年6月1日 印刷:三共印刷株式会社

ホームページ
検索



* 1: 表紙の史跡(忍城跡)、国特別史跡(埼玉古墳群)、裏表紙の建造物(時田家住宅・時田蔵、旧忍町信用組合店舗)、重要有形民俗文化財(行田の足袋製造用具及び関係資料)、行田足袋は、行田市の日本遺産の構成資産一例です。
* 2: 協力・写真提供) 行田市、行田市教育委員会、埼玉県立さきたま史跡の博物館、時田様



35th anniversary

公益社団法人 行田市シルバー人材センター

市の木「イチョウ」